

No.211
2023.9.20

郷土

莊原コミュニティセンター報

郷土のうき

令和5年7月31日現在

世帯数……2,714戸

男性……3,611人

女性……3,840人

合計……7,451人

発行／莊原コミュニティセンター

出雲市斐川町莊原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

つながる 莊原 笑顔の未来
活かそう 人を 歴史を 資源を

莊原の子どもたちで
大にぎわい

8/5
(土)

こども夏まつり開催！ 共催 莊原地区青少年育成協議会

2年ぶりに2回目の「こども夏まつり」を開催しました。

斐川東中学校生と莊原小学校5・6年生、鍋山小学校のお友だち、開星高校生のボランティアの皆さんが祭りの準備をしてくれました。まつりで必要な物を作ったり会場づくりをしてもらったりしました。また、高校生のボランティアさんは、「おかしな魚つり」会場を「竜宮城」に見立てた空間をデコレーションしてくれました。手作り満載の会場となりました。

夏まつり当日は、地域の有志の皆さんにもお力添えをいただき、地域のボランティアさんに支えられながら、子どもボランティアの皆さんは、その時々に対応を自分たちで考えたり相談したりして、

お客さんに楽しんでもらえるように笑顔で一生懸命頑張りました。まつりの最後は、来場者全員でビンゴゲームをして大いに盛り上がりました。

子ども同士や地域の皆さんの交流が深まる楽しいひと時となりました。



羽根盆踊り

荘原コミセン子ども盆踊りクラブ

～酷暑の中の練習の成果 大舞台で立派に披露～



祭

祭

「羽根盆踊り」は、戦国時代からこの地で行われてきたと言われる伝統的な民俗芸能で、出雲市指定無形民俗文化財に指定されています。

この夏の練習には、36名の荘原小学校1年～6年生の子どもたちが集まりスタートしました。今年は例年以上の暑さでしたが、初日に「熱中症予防講座」で注意点をしっかり聞き、長期間の練習に励みました。

ここ数年は、練習の中止や、練習しても発表の場のない年が続きましたが、4年ぶりに大きな舞台で披露することができました。

8/5
(土)

「荘原コミセンこども夏まつりオープニング演舞」26名参加

コミセン主催事業「こども夏まつり」。今年の主役は「子ども盆踊りクラブ」の皆さんです。番組をご覧になった方もあると思いますが、当日はICVのテレビ取材もあり、程よい緊張感の中、今年初めての演技披露でした。どの子どもも指先までピンと伸ばして素敵な踊りを披露することができました。

8/12
(土)

「出雲神話まつり「出雲盆踊り」」18名参加

羽根盆踊り愛好会の皆さん他約700名の踊り手さんと一緒に、くにびき大通りを約1時間あまり「出雲盆踊り」で練り歩き、来場者に披露しました。歩行者天国には例年以上の人出もあり、多くの市民の皆さんの前で元気に踊ることができました。

8/15
(火)

「荘原夏まつり花火の夕べ」30名参加

お祭りは天気が心配されましたが、第一体育館で実施することができました。大勢の地域の方の前で、5年ぶりに披露することができました。皆さんの温かい声援と拍手がとてうれしかったです。



「羽根盆踊り愛好会」の皆様には、夏休み入ってから8月中旬まで、毎日指導にあたってくださいました。長期間本当にお世話になりました。ありがとうございます。



7/31
(月)

「夏休み子ども工作教室」にたくさんの小学生が参加!! 素敵な草木染めのバンダナが完成!

～玉ねぎの皮を使って染め物体験～ 自主企画事業

昨年度はコロナの感染が広がり中止となった「玉ねぎの皮を使って染め物体験」を今年度は実施することができました。

猛暑が続いた7月の末日、元気に集まってくれた子どもたち。手順の説明を聞いた後、さっそく割り箸、輪ゴム、洗濯バサミを使ってデザインをし、玉ねぎの液につけたり、みょうばんの液につけたり、水洗いしたりと暑さのなか作業を続けました。

最後はバンダナをよくしぼってアイロンをかけてできあがりです。アイロンをかけると色も鮮やかになり、自分のデザインしたものが完成して子どもたちは嬉しそうでした。

当日は、「荘原コミュニティセンター女性クラブやまももの会」のみなさんが子どもたちの昼食を作ってください、子どもたちは心のこもった美味しい食事をいただき、バンダナを手元に帰って

いきました。

作ったバンダナを使うときには暑い中お世話してくださった「ふれあい交流部」の部員さん、「やまももの会」のみなさんのことを思い出してもらえたら嬉しく思います。



子どもたちの感想より

- ・お風呂で洗いながらできてうれしかったです。(14)
- ・おもしろいようにできてうれしかったです。(3)
- ・初めてそれなり、アイロンをかけたのでとてもうれしかったです。(14)
- ・せんたくバサミ、割り箸、洗濯バサミでデザインするのが一番うれしかったです。(14)
- ・玉ねぎの皮でこんなに色がでるんだとおどろきました。(14)

LUNCH

7/26～7/28
(木) (金)8/17
(木)8/18
(金)8/21
(月)

小中学生サマースクール

小学生の部 9:30～11:30
中学生の部 14:00～16:00

荘原地区青少年育成協議会

今年は、小中学生合わせ前期55名、後期47名が参加し、計6日間6名の地元教員OBと一緒に学習しました。

小学生は外の暑さも吹き飛ばす元気の良さです。早い子どもは開始時刻の1時間前からコミセンの会場に来ていました。勉強が始まる前や休憩時間は、仲間と一緒に楽しく過ごす時間。コロナ禍でははばがられ、遠慮していた「子どもらしさ」が戻ってきたなと感じました。一転勉強時間になると集中して頑張る姿がみられ、それぞれの課題をこなしていました。中学生は、「休憩」の声をかけないとずっと課題に向かっていきます。勉強の内容も夏の課題の量も小学生と比べればとても多くなります。目標をきちんと持って自分のためにしっかり取り組んでいる姿は「さすが」です。

8/20
(日)

子どもクッキング教室(夏)

荘原地区青少年育成協議会



3～6年生児童を募集したところ、定員20名を大幅に超える32名の参加希望がありました。会場の「JA斐川」あぐりキッチンふあみ〜ゆには、開始を待ちきれない子どもたちが早くから集まってきました。今回は、パン作りを中心にした「オープンサンドイッチ、タルタルソース」「タンドリーチキン」「夏野菜のいりどりスープ」「オレンジミルクゼリー」の夏らしい豪華献立です。パン作りが今回の目玉。初めて挑戦する子どもは、ねばねばの生地をこねたり、叩きつけたりする作業も楽しく取り組んでいました。時間が足りず、片付けも半ばであわただしい解散になりましたが、最後まで片付けを手伝ってくれる6年生さんもありとても感謝しました。子どもたちの笑顔あふれる楽しいクッキング教室でした。講師の皆さんには本当にお世話になりました。

今年度は、あと2回開催予定です。次の開催を楽しみにしてください。

子どもたちの感想より

- ・パン生地をこねると、ねばねばして手にくっついていけなくて、こねているのがパンのようになってきてうれしかった。焼きたてのパンは、もちもちしてあったのでおいしかった。
- ・やることにたくさんさんで食べたけどおいしくできた。レシピももらったので家でもやってみたい。
- ・今回は、パン作りやオムライス、ハンバーグを作った。

7/6
(木)

さつまいも・大豆畑の 草取りと落花生植え

自主企画事業

こども倶楽部



この夏は本当に暑いですね。暑い中「こども倶楽部」の畑の作物は順調に育っています。それと共に、雑草もぐんぐん伸びました。大事な作物たちに畑の栄養を行き渡らせるため、「こども倶楽部」で草取りを行いました。じっとしていても汗ばむような暑さの中、皆で協力して草を取り、穴を深く掘って埋めました。埋められた草は、やがて土の中で発酵し、来年度以降の作物の堆肥となります。

そして、今年度の新たな取り組みとして、落花生の種を植えました。落花生も秋に収穫予定なので、さつまいもの収穫時期に子どもたちに落花生の実がどのようになっているかを見せてあげられるといいなと願っています。



第6回 やくも教育講演会

「神在月の国 『出雲』に暮らして

～日本中の神々はなぜこの地に集われるのか～

講師 万九千神社 宮司 錦田剛志さん
主催 荘原コミュニティセンター
出雲コミュニティセンター



2年に一度開催しています「やくも教育講演会」、第6回目の今回は、講師に万九千神社宮司 錦田剛志さんをお迎えして講演いただきました。

出雲は代々受け継いできた歴史と文化に先人の英知が凝縮されており、「国譲り神話」などから見て取れるように、出雲は目に見えない世界において日本の中心であると考えられることから、出雲に住む私たち一人ひとりはそのことに誇りと自信を持つことが大切であるとお話いただきました。

講演でお話いただいたことを心に刻み、地域づくりや地域の活性化に活かしていきたいと思います。

1班

7/11
(火)

2班

7/20
(木)

3班

7/14
(金)

ふれあいサロン
おいでませの会

7月の「おいでませの会」開催

川の流れをたどってタイムスリップ!

7月の「おいでませの会」は、昨年度とても好評だった渡部和夫さんの「荘原百景」の続編で昨年と同じく写真(渡部さん撮影)のスライドショーを見ながらそれについて調べられたこととお話していただきました。

今年度は、新庄川を中心に川と橋のあれこれを詳しく話していただきました。生活のなかで日々使っている橋ですが、今は車に乗って通ることがほとんどで、まして川の流れをゆっくりと眺めることなどなくなりました。

短い時間でしたが、川と橋の話を通して子どもの頃の日々の暮らしを思い出された参加者も多かったのではないかと思います。



7/13
(木)

憩いの場、復活!

～「喫茶やまもも」オープン～

荘原コミュニティセンター

地域のみなさんの集いの場、憩いの場でありたいと始めた「喫茶やまもも」は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のために「バラのオープンカフェ」以外「やまももの会」会員限定の喫茶を続けていました。5月にコロナがら類になったことを受けて、どなたでも来ていただける以前と同様の喫茶として再開しました。

当日は再開を待ちわびていた地域のみなさんが続々と来てくださいました。世代を超えての交流を楽しむ方々、コミセンの教室の仲間と語り合う方々、中には打ち合わせを始める方も…。どのように使われてもかまいませんので、有意義な時間になるようにお過ごしください。

今後も地域のみなさんに元気を与えられる活動を続けていきたいと思っています。



女性クラブ
「やまももの会」



8/15
(火)

荘原夏まつり 花火の夕べ

荘原夏まつり実行委員会

ここ数年、天候不良とコロナ禍により「荘原夏まつり花火の夕べ」は中止したり、花火に特化したりしていましたが、今年こそは開催しようと準備を進めていました。しかし、台風7号が接近し開催が危ぶまれましたが大きな天候の崩れはなく、祭りは斐川第1体育館の中での開催となり、花火も予定通り打ち上げることができました。

5年ぶりの「荘原夏まつり 花火の夕べ」というだけあって、雨模様にもかかわらずたくさんの来場者でにぎわいました。花火も荘原の空に大輪の花が咲いたようで華やぎ、観客の皆さんに元気を与えてくれました。見応え十分な花火となりました。



今更！
そこだ！

うまい！
うまい！



photo by 8/15/2022



大盛り
だったよー！



ものまね芸人 民秋岡也さん

9/2
(土)

夏剪定



しょうばら Showバラの会

荘原地区文化祭は、今年は10月14日(土)～10月15日(日)の2日間で開催予定です。この日、文化祭に訪れる皆さんを美しい薔薇でお迎えできるよう、福島博さんに教えていただきながら、夏剪定を行いました。こうして、開花してほしい時期の約40日前に剪定しておくことで、薔薇が一斉に咲き揃うのです。残暑厳しい中で大変な作業となりましたが、「Showバラの会」の皆さんが頑張ってくれたおかげで、薔薇はさっぱりと整えられ、併せて雑草も刈り取られたので、花壇が美しくなりました。「Showバラの会」の皆さん、どうもありがとうございました！地域の皆さま、荘原地区文化祭をお楽しみに。



8/30 (水) 8/31 (木) 9/1 (金)

斐川東中学校職場体験

コロナ禍で中止となっていた職場体験が、4年ぶりに再開され3人の生徒さんが荘原コミセンで活動しました。ポスチャウォーキングやエコフレンドリー倶楽部、一歩一歩の会、カラーリング等のコミセンの教室の活動に参加し、地域の皆さんと異世代交流を行いました。

また、館内清掃や事務整理、受付業務を体験していただきました。生徒の皆さんは、とてもまじめで礼儀正しく一生懸命動めてくださいました。

コミセンは地域の方々が来られ集う場であり、生徒の皆さんにはこの3日間を通してたくさんの方と出会い交流する体験をしてもらいました。職場体験を通して、地域の人々や地域づくりに関心を持ってもらい故郷の良さを感じるきっかけとなれば嬉しく思います。



職場体験感想(抜粋)

- ★ コミセンは地域の方々とふれあい、話し合う場で、このように人と人を繋がりを持つことは必要だなと思いました。
- ★ 地域の課題の話し合いでは、住民同士のつながりを深めるには？改善があると良い、交通網が発達すると便利になっていいとか、びっくりするくらい色々な課題が出ました。一つでも多く叶えられるといいなと思いました。
- ★ 地域の皆さんはとてもやさしく、不安と緊張がほぐれて通えることができました。地域の皆さんと交流することができて、とても幸せで貴重な体験でした。



写真でたどる荘原 Vol.8

あの日あの時～そして現在

昭和25年4月に荘原中学校と出東中学校が統合して、現在の荘原幼稚園・東部保育園が建っている場所に二村組合立八雲中学校が開校した。

斐川村発足により昭和30年4月15日に斐川村立八雲中学校となり、昭和40年4月1日の斐川町制施行とともに

斐川町立斐川東中学校となった。

昭和62年に現在の場所(斐川町沖洲)に移転新築となり、9月1日から新校舎での授業が開始された。

平成23年10月1日出雲市立斐川東中学校となり、現在に至る。



▲斐川町立斐川東中学校旧校舎全景(昭和62年9月)
南側にあった校庭から見た旧校舎。右手に見えるのが体育館。校舎と校庭の間を町道が通っていた。ポプラ並木が素敵な学び舎。



▲現在の斐川東中学校校舎
周囲の水田が子どもたちを優しく見守っている。(渡部和夫さん撮影)

荘原コミュニティセンター「まちづくり部」では、引き続き皆様から懐かしい荘原の写真などの歴史資料を募集しています。ご自宅に懐かしい写真などありましたら、荘原コミュニティセンターまでご持参ください。

荘原コミュニティセンターより お知らせ

第10回荘原・出東一斉クリーン大作戦実施について

「荘原・出東一斉クリーン大作戦」は、今年で10回目となります。荘原・出東地区の自治会の皆さん、小学生・中学生の皆さんとご家族が協力してご参加の活動を行います。

○日 時：10月29日(日) 午前8時～9時

○場 所：各自治会周辺エリア

(詳しくは9月20日配布のチラシをご覧ください)



リサイクルステーション

閉鎖のお知らせ

10月14日(土)と10月15日(日)は、出雲市環境保全協会(荘原支部)の活動のため、リサイクルステーションを閉鎖いたします。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

10月 7日(土) 通常通り 8:30～17:00
10月 8日(日) 通常通り 8:30～17:00
10月14日(土) 閉鎖
10月15日(日) 閉鎖

荘原コミュニティセンター公式LINEアカウントのご案内

荘原コミュニティセンター公式LINEアカウントができました! 荘原コミセンで開催するイベント等の情報を発信してまいります。ぜひ皆さんで登録ください。



ご寄付御礼

香典返し 金一封

伊藤 務様(羽根西自治会)
錦織慎之介様(北本町自治会)
本常 洋平様(北新町自治会)
周藤 信夫様(共栄自治会)
石原 琴様(新生町自治会)

皆様からお寄せいただきましたお志は、荘原地区内の社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございます。ご寄付は随時、荘原コミュニティセンターで受け付けております。